



今回の発見!

甘沼・殿山を訪ねて

茅ヶ崎駅からバスでおよそ10分、「鶴が台入口」に到着します。この辺りは鶴が台団地が建設されるまで、戦時下の国策として食糧増産のために造成された水田が一面に広がっていました。

昭和16(1941)年に

始まった暗きょ排水工事では、山形県から暗きょ排水工事の経験者をあつせんし、土木作業には学生・生徒の勤労動員を募りました。その働きには、胸を打たれたと回想する人も多くいます。当時は、土をシャベルで掘り、もっこで運ぶしかなかったため、工事を早めるには人手を多くする以外に方法はありませんでした。この工事は、米の増収と裏作としての小麦の収穫をもたらしました。また、相模川左岸用水が水田地帯の全域に及んだので、その恩恵も受けました。

その耕地も、昭和43(1

968)年には団地ができ、2400戸が入居し、周辺でも宅地化が進むなど、大きな変化が見られます。

【生涯学習課文化財保護担当】

ここからは茅ヶ崎の街並みと相模湾を一望できます。江の島や、水平線上に伊豆の大島まで望めることも。

薬師堂跡

薬師如来が安置され、万病治癒・長寿が祈願されていました。急仏講は昭和の終わりまで行われていました。

ゴルフ場

成就院

八幡大神

殿山公園

玉林寺

小出県道

昭和2(1927)年に開通した、小出と茅ヶ崎を結ぶ道。玉林寺の脇の坂道は峠越えを思わせるような場所でした。



市内でも有数の大ケヤキ



大山道

辻堂の四ツ谷で東海道から分かれ、赤羽根の南側を通り、一之宮、田村の渡しを経て大山へ向かう道。



新湘南バイパス

水道道

昭和37(1962)年に寒川浄水場から鎌倉・逗子へ送水する本管の増設でできた道。

鶴が台中学校

相模川左岸用水

相模川の側面取水し、空田に至る約20%の用水路。

明治37年銘の道祖神



鶴が台団地



鶴が台入口

